

鈴木安藏

（たけしき）

政治學・憲法學者、法學博士。明治二十七年（二月）二

日福島縣生れ、昭和五十八年八月七日歿（一九四一—）。昭和二年京都

帝國大學經濟學部中退。十七年衆議院憲政史編纂委員、戦後高野岩二

郎等と憲法研究会を主導。二十六年靜岡大學教授、二十八年愛知大學

教授兼任。四十一年と五十二年大學教授。

著書『自由民権運動史』（編、昭和十七年一月）二十五年高山書院『高

山叢書』（）、『政治・文化の新理念』（昭和十七年十月利根書房）、

『日本民族論』（合著・帝國書院編輯部編、昭和十八年十一月）二十五

日帝國書院『民族科學大系』（）、（評）伊藤博文『』（昭和十九年二月）一

十日昭和刊行會）、『憲法と自由民権』（昭和二十一年七月十五日水

美書房）、『民主主義十講』（合著・日本放送協會編、昭和二十一

年十一月）二十日日本放送出版協會）、『日本の民主主義』（昭和二十

二年一月）二十五日革新社『民主主義講座』（）、『明治憲法と新憲法』

（昭和二十二年四月）二十五日世界書院）、『討論—理論と實際』（合

著・朝日新聞社編、昭和二十一年五月二十一日朝日新聞社）、『官吏

制度の研究』（編、昭和二十二年二月一日同友社）、『自由民権』（昭

和二十二年十一月十五日白揚社）、『戦火のみなたきあぐる自由と平

和—朝日新聞社募集論文集』（合著・學生書房編集部、昭和二十五年

二月十日學生書房）、『革命—その理論と實際』（合著、昭和二十五

年四月）二十八日北隆館）、『ハロルド・ラスキ研究』（編、昭和二十

九年四月）二十五日鈞草書房『政治學研究叢書』（）、

『基本的人権の研究』（洪野義信共編、昭和二十九

年八月）二十五日鈞草書房『政治學研究叢書』（）、『憲



法改正と憲法擁護』(昭和二十一年十一月十五日勸業書房)、
『憲法改正是か非か』(公著・毎日新聞社論説要編、昭和二十一年四月二十日
毎日新聞社)等。『憲法調査会総批判―憲法改正問題の本質・鈴木安
蔵教授還暦祝賀論文集』(昭和二十九年二月二十日日本評論社)刊。